



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原子爆弾投下都市の候補になった都市がもつもあることを初めて知りました。その中でも、京都の地形がごぼんの目のように建物が密集しているなど、アメリカは原子爆弾を投下するときに日本の地形を利用して考えることもおどろきました。

他には、原爆ドームがもともと広島県産業しょうれい館だったと知り、元型がなくなるほど原子爆弾の力は強く、おそろしいものだと感じました。

原子爆弾の影響、放射線によって人々が原爆症や後遺症で今も苦しんでいる人がいると思うと、原子爆弾のおそろしさを実感します。

私は、戦争が起こっているときに生まれていましてしたが、関係ないのではなく戦争の悲惨さや原子爆弾のおそろしさを伝えて、もう二度とこんなことが起きないようにすることが、大切だと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回はこのような場を招いてくださり、ありがとうございます。

今日、原爆先生の授業を受講して、今は昔みたいに原子爆弾はなく
平和で安全にらせているから、それがふつうだと思、ていてもそれはふつうでは
なく、昔は今とちがい、昔の日本人はふつうにらせていても、命がなく
なるほど大変だったことが分かりました。

また、昔は、原子爆弾などで日本はあれていましたか、二度と昔みた
いにあれないように私たちが平和というのはあたり前ではない。

平和というのはとてもいいことだ。というのを長年引きつぎ、

平和で安全な日本にならたらいいと思、いました。

それに、昔は、死にたくて死ぬ、年を取、て老いるなどではなく、

原子爆弾で多くの人の命がなくな、ていき、とんとん人が殺さ
れていき、とてもあれていたけれど、今はそのようなことが起、けな
いように「広島原爆ドーム」を人々が亡、な、た、悲、しい場所だ
もあり、今を平和にする場所でもあるのかなと思、いました。

最後に、今回は、原爆のひき、つ、き、平和の大切さについて
教えていただきありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講してみても、戦争がとにかく
に悲小参で悲しい物が改めて凄く見え方めた。7000°なんび
和たちには想像もつかないような凄さなんだなと思った。
太陽の表面の温度は6000°と聞いて、それ以上に熱い
なんて信じられないと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

二年生のとき、「はだしのゲン」というマンガを読みました。その中でも原爆が落とされた直後の様子がありますが、その作者も、原爆資料館の中での人形を見た池田さんのように、「あんなきれいではなかった」と、本の中でかたっていました。

私は原爆資料館の中にある、あの人形でも、相当ショックを受けました。そして、目をそらしてしまいました。あれでも「きれい」なのかと思うと、実際の様子を真のあたりにした人たちが、どれほどこわい思いをしたのか……。今は、あの原爆の何十倍、何百倍、何千倍もの威力の原爆も存在します。そんなものを使っての核戦争が起こったら……。あの出来事が、今後、何度も起きてしまうのかと思うと、とても怖く、つらいです。今、世界の大国同士の関心があやしくなっています。唯一の被爆国である日本が原爆のおそろしさを世界中の人々にかたり、戦争と原爆に思いきり反対しなくてはいけないな、と感じています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業で原爆のこわさがしれました。とくに原爆症のことがとてもこわいです。広島に投下された原爆がリトルボーイといってそれが長さ32mで重さが47トンととても重く思いました。そして衝撃波の速さが毎秒440mととても速く音速が340m/秒で速いです。

リトルボーイはパラシュートで落ちますが、風とかが目撃のところに落ちなくてもラジコンデコを付ける風の影響が少なくなると目撃のところに落ちてしまうことがありました。リトルボーイの落ちる速さが300kmととても速くてびっくりしました。とても原爆先生の話がとても分かりやすくしてとても勉強になりました。それからこういうことがおこらないようにしたいです。

そして2時間教えてくれてありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

教科書や授業だけではあまり知れていなくて、自分たちの知らない裏の話があってすごく勉強になったと思う。また原子爆弾とはおそろしい物で、いっしょんにして1つの幸せな場所を壊すおそろしさ、鉄は1500℃でとけるのに対して熱線の回りりは、7000℃で中心は100万とという高熱で外にいた人たちはいっしょんで炭になって、そう簡単に命をうけてはいけないう命の大切さ分かりました。1つの原子爆弾で30万人以上の人たちが亡くなりやけどをして回りの5人に2人が亡くなっています。すごくびっくりすることが分かって、これを次々と次々と伝えていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆というものが、ほくか、今まで
で考えていた以上のひがいを
をおよぼすもので、思っていた
以上にずっとずっと悲惨なもの
であったことが分かりました。
今回のことは忘れられないなと
思います。そして伝えていきたいと思
いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、特別授業をしていただきありがとうございます
ございます。

原爆先生のおかげで戦争の悲惨さや原爆のおそろしさを知ることができました。

その中で僕がおどろいたことを3つ紹介します。

1つ目は、原爆の中心の温度が摂氏100万度もあることにおどろきました。あと、表面の温度が7000度あることにおどろきました。

2つ目は、原爆が落とされたとき、一瞬で川の水が蒸発して、ものすごく減っていたから一瞬でみんなに減るんだと、おどろきました。

3つ目は、原爆が落とされたとき、地上の温度が3000度になったことにおどろき、熱線まで人間までもがかけ"を残したことに、さらにおどろきました。

原爆先生は、身振り手振りをたくさんしていて、内容やその時の様子がとても分かりやすかったです。

僕はこのことを忘れたいようにはうと思いません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

説明が"とても良かったです。
また"どうさなど"を見せてくれて分かり
やすかったです。

図などに細々書いていてすご"い
と思った。

この話を聞いて戦争の苦しみ"を"分
りました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の授業を受けて、原爆の悲しみや大変さが少し分かった気がします。

私が一番悲惨だと思ったのは、「車の荷台に乗ろうとして手をかすと手のかわがむけて...」というところや、死亡率が40%ということです。

また、7000°や3000°なんていう私たちには想像もできない温度で、とてもあつかったろうし、やけどしたところは、いたくてたまらなく、大変苦しかったです。うと

原爆が落ちた時、いつもと変わらずふつうの日だったのに原爆がおちただけでこんなにせんせんかわ、てしま、ても絶対にこんなことになりたくないと思いました。

今回は、私たちのために来てくださりありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、原爆のことをくわしく教えてくださり、ありがとうございました。

私は、今回の授業を受講し、原爆すらなかったら、今も幸せに生きていた人かいたんだと思うと、1つ1つの命の重さ、大切さを感じます。そして、軍人のみなさん、被爆者のみなさんの心には、深いきすが残らずにもっと自由にのびのびと生きることが出来ていたと思ひ、原爆の事を少しでも知ってみるということなどの思ひが二度と原爆が起きないようにするためのものだと思ひます。

今までの生活がふつうだと思ひていたけれど、どう時は、ふつうではない生活が続き、原爆を思ひ出すとよみ返ってくるという幸い思ひをしていたと聞くと、今の生活にありがたみを感じました。

これからは原爆の事を次の世代に伝えながら、二度と心に深いきすが出来ないよう、世界がともに仲良く生きられるように活動していきたくてです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦争があつたし、それを昔の日本人が
 やつていとおそろしいと感じて、
 被害者24万人被害者14万人とおそろしいから
 戦争と学習に勉強がみえて、戦争
 がある時代はまたいいし、僕たちがかならず
 ちとくるでも今は平和でまがい暮らしをしてない
 けどでも日本はめちゃくちゃな状態にいた。
 日本がどのよるまじ感におよせられたか分かんない
 ったか、と分かってたい変化だと思いま
 した。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆でやけどしたりせくなってしまった
方たくさんいて、~~1発~~でこんなに...と
こわくなりました。

太陽の「表」面よりも熱くてビック
リしました。わたしは、これからはどの国
もなかよく楽しくできる未来にしたい
と考えました。

なので原爆のことをよりたくさんの人に
教え、~~1度~~とこのようなことにならな
いように、みんなでよりよい未来のため
今日きいたお話をたくさんの人にシェ
アしていけるといいと思いました。

みんなはがれてしまった方を助け
たくても助けられなかった方。どんだけつら
かったか。わたしも同じほうまれていなかっただのと
わかりません。でもつらいのはつらいので、このよ
うなことを起さないように、未来を変えたい
です。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生のお話を聞いて、改めて戦争のおそろしさを感じました。

原爆先生の特別授業では、教科書では絶対に学べないような被爆者の様子や被爆地の状態などを知ることができて良かったです。

また、原爆先生の効果音を使ったり、声の大きさや高さを変えたりする話し方が、こわいけど続きが気になって、思わず聞き入ってしまいました。

私が特に印象的だったのは、義三さんが、被爆者の展示物を見て「キレすぎる...」と言った事です。私からしたら、画像だけでも十分こわいののに、本物の展示物をキレと感じたことにとってもおどろいたし、鳥肌が立ちました。

原爆先生のお話を聞き終わって、私はこれまでよりも戦争は二度と起こしてはならないと実感しました。本日は、貴重なお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/12

今日、原爆のお話の「ヒロシマの九日間」の一部のお話を聞いて、一番心に残った言葉が「助けて...兵隊さん...」という言葉です。爆心地に近いところにいて全身大火傷しているのに義三達(ニ班)に助けを求めていたところは、どうしてそこまでして?と思うところがありました。もう助からないのは分かっているのに...。そのときの広島^の死亡率40%。というくらい死んでもおかしくないからあきらめるはずと、思っていた。だが、それを分かっているにも助けを求めた。それは子どもだけでも助けてほしかったのだろうか。←このことを体験した人と話してみたくなかった。どうしてそこまでして生きたかったか。

総合の授業で広島と長崎を調べてどうして広島や長崎が狙われたかがあまりヒョクくる理由か、のっていないか。たか、原爆先生の話を聞いて、主に3つの条件にはあったのか、広島と長崎。や、となるほど!と思える答えか、で、とても嬉しかったです。ですが、3つの条件にあっていて、原爆をおとす予定だった②の小倉はどうしておとされなかったのか、のです

か?

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

続き ㊦



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業を聞いて今現在、学校で行っている戦争の授業は、今まで以上に原爆についてよく知ることができました。もうこのように「絶対走りたい」とたれもか思っていると思えば、それ以上にまず自分が「どこ」に「どこ」があり、「どこ」が「どこ」かをよく知ることが大事だ改めて実感しました。

今日はこのように、6年生をふくめ、生徒たちにとっても、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。このことを一生忘れず、戦争は、たまたまということをあたり前に思えて生かしたいと思います。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は来てくださってありがとうございます
ございます。候補になった都市で
なぜ京都を爆げきしなかったのが
気になり、理由で日本人の感情と
文化のそんしょうだ"というが、日本を
たおしたいながらも、とやるはずだ"と
思って外国人が少しやさしいなど
感じました。原子爆弾がおとされた
のは日本が初めてで、日本だけ
なので平和を一番知って感じている
と思います。私たちは今、原爆
と戦争の学習をしているので大い
に役立ちそうです。今日は本当
にありがとうございます。
今度、原爆ドームへ行ってみたいと
思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は原子爆弾のおそろしさをはあぐした
つくりでいたなのでかなりのしょうげきを受
けてしまいました。火やしょうげきはのちだ
けで2万人の人々の命が一瞬でほろほろ
れたと言われたとき想像もすることか
できずにいた。また放射線が大きな被
害をおよぼして特報に多くの人が亡くな
ったというのは知っていたが、それにより10万
人の命がうばわれたという事実をきいた。
それは寝取水で、そんなにおそろしいものなん
だと思いました。戦争というものがうまのは
がせいだけとよきいていたが、その本当の意味
がこの授業でやっと分かった気がします。
戦争のことがよく分からない後世の人たち
にこの授業で学んだことを教えるなければ
ならないと考えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

とても重い言葉でしたけど、これが戦争
のひびきというもののなのかと思いました。
もともと印象に残っているものは、原子火暴たひ
はというや、て火暴石皮するの、か、係、目、み、が、複
雑でしたけど、原爆先生の説明を聞いて
系内得しました。今日は本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いてエノラニゲイがチハツト大佐のお母さんだということや、原爆の投下する場所の候補など教科書などにものっていないことを知ることができました。

また、戦争が原因で日本は原爆が投下されたので、戦争はもうしてはいけなさと知ったり、戦争を体験した人が後世に伝えて戦争をしないようにすることが大切だと思いました。

そして、今も原爆をもっている国があることで、その国も原爆をもつのをおめた方がいいと話聞いてと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

表面が大陽よりも熱い原子爆弾が降ってくると思うととても怖い。いつもの授業よりも原爆について知ることができた。単純に原爆のねらいは広島だと思ったが、ちゃんと原爆を投げる条件があった。「パン！」という原爆の大きな音が聞こえても、自分はパニックになって動けなくなる気がする。広島の人達はどんな苦しい思い、悲しい思いをしたのかは全然想像つかない。原爆を投げる市の候補に入っていると思うととても体がふるえる。この授業で自分が思っているよりも、原爆は怖いものだを知った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7 / 12

原子火暴弾を投下するということは、熱風や、衝撃波や、放射線(放射能)により、人を一瞬のうちに殺したり、重度の火傷により、人として見えなくなってしまう、今もまだ苦しむ人がいる原火暴症になったりと、とても悲惨な事になってしまうので、以後二度と原火暴や水火暴を投下してはならないのだと考えた。また、池田義三さんたちが、被火暴者に手を差し出し、トラックに乗せようとした時に、被火暴者の皮膚が、落ちてしまったという言葉を、拝聴し、原火暴の恐ろしさや怖さを改めて実感した。さらに、「リトルボーイ」の表面温度が、太陽の表面温度よりも1000℃も高かったことが故に、周囲の空気が、ぼう張して、上昇気流が起これ、あのきのこ雲ができたのだと知って驚いた。また、たった1回の原火暴で14万の命が失われたのだと知り、自分は、この無残なことを後世の人々に伝え、戦争を永久に放棄して、平和な世を作っていきたいと思った。

90分でしたが、色々なことを学ばせていただき、有難うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

昔一度原爆ドームの近くに行き、資料館にも行ったことがありましたが、その時自分は幼く、何も知らないまま軽い気持ちで見えていました。けれど今回の授業を受講して、その「助け」とうたえ、上がろうとしている時、手をのばし、引、張り上げようとしたら皮ふがはがれて転げ落ちるという場面を想像した時ゾッとし、改めて戦争の重さ、命の重さを感じました。また、映像を見た時その想像した場面より、はるかにおそろしく怖いものなのかもしれないと思いました。そして、戦争の重さをもっと知り、もう一度原爆ドームや資料館を改めて見て、戦争というものに向き合、ていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾は、一瞬で人々の命や日常をうばうだけでなく、生きのびたとしても、原爆症や恐い記憶などで人々を傷つける、恐いという言葉では表しきれないほどむごいものであると、改めて実感しました。特に印象に残ったことは2つあります。

1つ目は、人なのに人でない姿をしていた人々のことです。水の中でゆでダコの様になってしまった人、全身が焼けたたれ、軍人が手を差しのべたものの、それによって、より苦しみが増えた人…。この人達の生きながらの苦しみを考えると、どうしようもないやるせなさがこみ上げてきます。

2つ目は、原爆を投下した後のエノラ・ゲイのパイロットのことです。爆発した後の様子を見た後に発疹ができてしまったことを知り、やはり敵だとしても、その惨状には耐えがたかったのだなと感じました。また、立場を変えることによって、原爆のむごさは変われないものの、多少は見解が違い、原爆をより多角的にとらえることができま



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は2年前に原爆ドームを見て、原爆資料館にも行きました。想像をこえる展示物にしょうげきを受けて、全部見られませんでした。原爆先生の話を聞いて、資料館に展示されているものよりも現実はずっとひどかったのだと知り、言葉にならなかつたです。

元安川の水がすぐに蒸発してしまうとか、体の中の水分までうばってしまうという話は、原爆が異常なほどの高温ということが分かり、おそろしくなりました。

今、戦争が終わって平和になりました。この平和がいつまでも続くようにするには、まず原爆のこわさを知ることだと思います。私はもちろん、父も母も、祖父母も戦争を体験していないので、テレビや本などでしか戦争を知りませんでした。

原爆先生のお父様の話を直接聞くことで、戦争のおそろしさ、そして平和の尊さを改めて感じる事ができました。

私たちにできることは、この平和を維持していくことなのだと思いました。この度は、貴重なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日は私達のために来ていただき、ありがとうございました。

戦争を実体験した方からの動画などから本当の気持ちがよく分かりました。広島原爆ドームに入ったことのある私は、動画の中で「戦争はこんなにあまいものじゃない」というお言葉で平和の大切さをとても感じました。また、実際にあったことを音などでリアルに感じ、兵隊になったようでした。

他にも、原子爆弾投下の候補の都下やその条件も知り、きとうに投下していなかったのだと分かりました。しかし、そこで疑問ができました。それは、「なぜ投下したのか？」このことについて知りたくなりました。もし、よければ教えて下さい。

改めまして、一小に来て平和について考えさせてくれてありがとうございます。後世にも受けついでいきたいと思っております。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原爆先生の特別授業をしていただきありがとうございました。ぼくは、この特別授業を受講して2つのことを特に感じました。

1つ目は、とにかく原爆というものに恐怖を感じました。まず、広島に落されたという「トルボム」という原爆の写真を見ておろくなりました。これだけで数えきれないほどの人間が苦しみながら命を落としていったと思うと、この世に絶対に存在してはいけないものだと思います。

2つ目は、このつらい出来事を絶対に忘れてはいけないと感じました。小さい子供からお年寄りまで何も罪もない人々が亡くなり、命が失われずにすんでも被爆者として後遺症に苦しむ続ける人々がたくさんいます。こんなことが二度と起きない、起こさないために事実を伝えていけなければならないと思いました。

ぼくは小さい頃に広島にある原爆ドームに行ったことがあります。その時は、まだ詳しく知ることはできなかったけれど、今回の特別授業で詳しく知ることができて、戦争を絶対に起こしてはいけないとさらに思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原子爆弾が地上に落ちてから爆発したかと思っていれば、空中600mで一気に爆発させたことにとってもおどろきました。原子爆弾は爆発するだけだと思っていましたが、放射能、衝撃波、熱気、放射線などのうかががあるなんて、広島県の姿がなんとかわかりました。さらに、爆発音はは音よりも早い(40m)なとておどろきました。先生の原子爆弾の再現がひさびさを伝えられました。原子爆弾が最初にねらったところは京都だ。た、というのにもおどろきました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の授業では教科書に載っていないものがたくさんありました。中でもほくが一番おどろいたものは原爆の温度は太陽よりも高い7000度で地上の温度は3000度にもなったということ。地上がそんな温度になるとはとても信じられません。自分達が後世に伝えなければと思いますがそんな時代に生まれなくてよかったとも思っています。それでも、ほくたちにできることはあると思います。これからの学習で戦争のことをどのように生かしていけるか、どうすればもう戦争が起きないか、考えていく予定です。先生の話し方がすごく上手で、(原爆の音も)聞いていて思わず引き込まれてしまいました。今回の話を、しっかりと次の学習につなげていきたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

7/12

私は原爆先生の話聞いて、原爆がどんな物かをあらためて理解した。とくにこわいと思ったことが2つあります。1つ目は、広島に落下された原爆「リトルボーイ」です。理由は、3.12mという爆たんの長さで約4tの重さがあるということはどんなにおそろしい物がこの「リトルボーイ」に入っていると思うととてもこわく思います。

2つ目は、放射能です。理由は、とても高い温度が200mも広がって、その表面は、7000℃もするという、太陽より1000℃高い温度が人々にかかる、とてもこわく思えました。

私は、この原爆のことを世界の人々、また、自分のさらに後世にも伝えていかなければいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

被爆者の方々は、自分たちが住んでいた家や建物が目の前で消えさり、町中は焼の原になった所を見て、現実とは思えないくらい思いをいたしました。人々は全身にやけどをおって皮膚をたらしながら歩いていました。多くはそれを想像すると、戦争がどれだけ大変だったかが分かる。

今回の主人公として出てきた原爆先生は、このような光景を何度も見ていて、兵隊さんとして人々を助けて本当にすごいと思いました。

これからもそのようなつらい戦争を起こさないよう、平和な世界にしたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私の曾祖母の妹は、原爆の被爆者で、今日いろいろなことを知れて良かったと思います。原爆の投下場所のこうぼや、数寄などの糸田かいことを知れてとてもためになりました。もともと戦争のことはとても興味があったので、これからもっと調べてまいります。

特に、爆破したときの音(再現)におどろきました。氷よりも大きい音なんだと思います。原爆はあつてはならないものだと思います。

体験者の方はもう少ないですが、手に入れられる情報は手に入れていかしていきたいです。また、機会があれば、原爆ドームにも行きたいです。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆がおそろしいといふことが、あらためて
 分かりました。原爆を落とるといふことを、アツ考
 えて決めていたのは、おそろしかったです。そんななか
 の原爆は、これから絶対落とすはならないと
 思いました。このおそろしい、この怖さを、このか
 ら伝えていく。二度と起きないふりにしない
 といいたい。そう思いました。貴重なお話を
 聞かせていただき、ありがとうございました。
 T。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは戦争のことを学んで、その地の、原爆投下の条件や、原爆を落とすころは、や、広島に投下された「リトルボーイ」など、まだぼくが戦争を調べてる時より、分からないことが多く、すごい勉強になることがあった。

原爆先生のひめいみみたいなのでちょっとビックリしたけど、本来だったらあれよりも大きい音だから大変だったのだとさらに思えた。逆にいえば、その時の効果音だったりを、いってくれたので昔の人の気持ちみたいなのが伝わってきた。

最後の動画は最後の場面で泣いていたから戦争のひさんというものを分かっていないと泣かないんじゃないかと思ったから、こっちにもひさんさ、苦い、おそろしさが伝わってきた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回のことについて原爆のひんきによく分かりました。原爆一発だけでとても多くの人々が亡くなってしまいその身内の人たち、友達などがとても悲しんでしまう。ぼくもその人達の悲しさが伝わってきた。今のことから戦争はもう二度としてはいけないということ考えた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田さんの強い思いが伝わってきました。原ばくのを落されるところの候補があって第一きぼうは広島、他にも広島に落とされた原ばくはリトルボーイと言って落とす時はパラシュートでは無い、エノラゲイは時速300km以上出せる。2回目の原ばくは広島はしょうげき波が来て速さは400mで100万とも出たなど様々なひげきで様々な人が亡くなったりしてひがいを受けたんだなと思いました。

このような事から原ばくは本当におそろしい物だと感じました。また自分の次の世代にも原ばくの事を思ってもらいたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受けてあらためて原爆がどれだけの被害をどれだけの人が受けたかが分かり、このおそしさを次につないでいって二度このようなことがおきないようにし、船たちもやいうことがあたことをわづらないでいたいのです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この話が事実となるとすくすく下ゆくて、びく
りした。

もし、自分がこの場にいたらと考えると、
「どうしようもない、助けて！」だれかにまかせるとか
他の人をたよりにしてると思っただ。そして下ゆくて
何も出来なくなる気がした。

自分なりにだけでなく、実際に経験した
人の気持ちになって考えなきゃ分らない
事もあると思った。

平和にしていたのにばくだんがおちてき
て何の罪もない人がたくさん亡くなってしまい、
大切な友達、家族、新世ぎ数々の仲間
を失なっていると思うと、心が限界にな
てしまうかもしれません。そんな中で一生けん
命生きてる人は本当にすごいと思いました。

この話を原爆先生がしてる時は、昨日
の事かのように、原爆のかわさ、命の大切さを
伝えたいんだなと思った。

原爆、争戦などは必ずみんなが知り、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は私が思っていたよりずっと悲惨でびっくりしました。先生がその話をしはじめたとき、私は聞きたくないと思いました。でも、事実なので、しょうがないことだけだと、やっぱりわかったです。そういうものを想像すると、自分が戦争の時代に生まれなくてよかったと思いました。だけど、これからいつか戦争が起こるかもしれない。そう考えたら、今日学んだことを生かして戦争はもう二度としてはいけないことだと、私たちが伝えなくてはいけない、と思いました。そして、ちょっと怖いけれど、原爆ドームに行ってみたいとも思いました。これまでに習ってきた「ちいちゃんのかげおくり」や「たずねびと」で、ずっと行ってみたいなあと、思っていたので、見るだけでなく、今日の話と重ね合わせていかに行ってみたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

普段、インターネットなどで見るような情報ではなく、戦争を経験した人の話を聞いて良かった。

私が調べていた中では、「B29 爆撃機 エノラ・ゲイ」が積んでいた原子爆弾が4枚、3.12m あるなんて知らなかったし、「エノラ・ゲイ」が機長の母親の名前であることなど掲載されていなかった。

さらには「原子爆弾投下都市」に条件が3つも(①の直径5kmを超える、は大都市の条件を知っていた)あるなんて知らなかった。

空襲の被害を受けた人が広島に35万人中、死亡率40%、被爆率70%。おまけに5人に2人が原子爆弾で死亡したと言われたら、現実か、たと改めて思うと怖い。原子爆弾降下の候補に、「横浜」「新潟」「京都」とあったが、横浜は東京に近く、新潟は産業が盛ん、京都は文化財が多くある古き都。まず、原爆が落とされていること事態、最悪だが、他の降補であれば、全体に被害が広がっていたらう。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受けて改めて原爆のおそろしさを知りおどろきました。

一番おどろいたのはげんばくのおそろしさ？うまさ？

についてです。まわりが90%近くにならな太陽

が光暑いからとおどろきました。もし近くにげん

ばくがもしおちてきたらこの周辺が行ってはと考

ると大変ですね。

でもほくは原子ばくた人を作ると同じ人間をたおしている人間がおそろしいと思いました。

今おどろくということについての授業からはおおまかには記おくにないのでこういう活動は大切だと思いました。

また人が同じ誤ちをおこさないように伝えていくのはいいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

自分は最初戦争と言われてもよく分からなかつたけど調べてみたり、原爆先生のお話を聞いてみるとあらためて戦争はつらいことだと分かった。

戦争では、スカイツリーの高さで7000℃のばくだんを落としたり、7000℃のばくだんでやけらぬ人も、地下にいてたすかった人もいたし、原爆症でつらい思いをした人がたくさんいた。

原爆先生に実際にあった広島戦争をお話してもらったと、被爆者の人たちが毎日とてもつらい思いを覚えて過ごして来たと思うと私はとてもつらい気持ちになりました。

これからは被爆者の人たちの思いを忘れないでこの世代に戦争のつらさを自分たちからつたえられるように戦争のことを今より、もっと勉強して次の世代にお伝えしたらいいし、広島市や戦争のつらさを伝える町や学校などで戦争についての授業などをしてもらってほしいなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話聞いて、あらためて原爆のおそろしさを実感しました。

第一に印像に残ったのは原爆が落ちた時の被害の大きさです。衝撃波が落下したときとはねかえったときと2回あったことが衝撃的でした。

また、原爆を落とす時の条件や候補が決まっていたおどろきました。

しかし、原爆は1しかなくて人が亡くなってしまってもおそろしいものです。その時代の消火器の中に入っていたなどのことからあつさかとても伝わってきました。

おそろしさが一番伝わってきたのは、ひふがま、黒にやけて肉がむきたしにな、てうでをななめ上に上げているところを想像すると血のけかひきました。

原爆先生の話聞いて、いままでよりもっと原爆のおそろしさを知りました。このようなことが二度とないようにな次の世代に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、今日原爆についての話をうかがい、思ったことが2つあります。1つ目は戦争の悲しさについてです。戦争をしたためにこのようなことになってしまったこのを私はとても残念に思いました。2つ目は語りつぐことです。ほとんどの日本人はこの戦争を体験していません。75年近くたつた今私たちが戦争体験について学習し、次の世代に伝えていくことが大切だと思いました。そして、伝えていくことでこの地球の平和を守りぬくことができるのではないかと考えました。私たちに今できることは、戦争について知りそれを語りついでいくことだと思います。これから総合の授業で平和や戦争について学んでいくので、今日学んだことを活かしていきたいと思いました。今日の特別な機会をすくなく忘れないようにしようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1学期の総合などで下もともと原爆について少しはしていったけれども、今日原爆先生のお話を90分以上聞かせてもらうことができたら改めて原爆と私たちが住んでいる下こわいのが昔の人々がとたけひがいを受けていたかを知ることができました。このことを知って私が考えたことは昔の人々に感しゃしようということではないかというとも少し昔の人々がバカれてしまった人々をやかなかったり粉ごなになったガラスなどをかたすけてくまらさうするに急ぎ急ぎは今もひどいじょうきょうになりくらしがらじょうきょうになってしまいかも知れない。ということがあると思ったので昔の人々にはものすごく感しゃをしなくてはいけないなと今日原爆先生のお話を聞いて思いました。そしてもう一度とこのようにことがあたらぬよう次は私たちが次の人々に教えていってもうお話をう



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

・わたしは、原爆にあった人たちの目線で調べていたので、軍人の人たちも、原爆によりつらい思いをしていたとわかった。

また、PCでは伝わってこない原爆にあった人たちの生きる必死さというのも伝わった。

・後半の話ではエノラ・ゲイなど、爆心地についての話だった。

軍人を使配していた人は、たくさんの人を死なせて、わるい人だと思っていたけれど、京都に原爆を落さないでくれたから今も京都の文化が残っている。でも、どこに落したってよくない。

原爆にあった人たちがそれをよく知っている。

たった一発ではなく、一発でも、苦しい思いをする人がたくさんいる。今回のような事を伝えてきたから今の平和があるということをお忘れないようにしていきたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受けて被害について思ったことがあったのでそのことを書きます

人々の被害については、人々は皮膚が原爆により火傷が全身にできていたと

聞きました。私は軽度の火傷なら経験がありますが、皮膚がはかれるほどのものはもう

ありません。それを全身に想像しただけでゾッとします。今私がかくために動かして

いる右手も、原爆時の被災者の手はも、とも、比べものにならないくらい痛らしい、

ものすごく重い火傷があったはず。死者も4万人、ものすごく多いです。苦しんで長い時間

苦しんでからなくなっていた人も中にはいると思います。今私が物々と生きているのは被災者

から見るととても幸せで楽しい時間をすごしているのだと、そう思いました。

建物の今はきれいで丈夫だけれど、原爆時は灰色、もしくは黒だけの視界だと

聞きました。今の私達の暮らしは、色とりとりに、一つの色にそまるということは無

か、たと思います。原爆下の被災者が今の私達の暮らしに目がくらむかもしれない。

つまり、そのくらい、私達の今の生活が、どんなに幸せかが分かる実感できる、そんな

大切な時間だったと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回のほくをきいてほくは戦争は二度
おきておるがなしいにとた"いざ"とわ
いしくおいていてたし原爆は太陽は
あついなんでそうぞうしたた"はで"を
するかんじておくる。

ほくは戦争のことをおしく
してつきのひたな11につたえてい
た11と思いたしまがまた戦争に
いてべんきょうをしてみた16



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

7/12

原爆は、1発で14万人もの死者が出てしま
 った。多くの人々が被災者を受けたことが分かりま
 した。そして地上の温度は3000℃というそうそう
 もつかない温度で、太陽よりもあついということも
 分かりました。

また、人もいっしょに灰塵になってしまっ
 て、建物も壊れてしまった。原爆の話を聞いて
 もっと分かりました。

5人に2人、17人に1人によって死んでしまっ
 たとき、大ぜいの人が死んでしまったことを心苦しく思いました。
 そして原爆がおとされた後でも原爆症という
 病気や靴が壊れている人や皮などがやきつくされ
 り、黒くなっている人も、苦しみに耐え
 ながら生き延びていこうとしていたことが
 話をきいてくわしく分かりました。

原爆について2時間も時間をとって話をき
 き、きょうのお話しが聞いてよかったです。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、なぜここまで戦争のことについての勉強も日本は熱心に学ばせているのかなあと、不思議に思っていた。だが、戦争を知らない私達に、日本はどのような歴史を歩んで平和な国になったのかということを話してもらうことは大切なことだということは分かっていた。平和の中で生まれ育った私達に戦争の話をごんごんに元氣張って伝えようとしても、実際に恐怖を体験した人達の痛みは半分も感じることはできない。でも、せめてなるべく多くのことを理解しようと努力をすることが私達の役割だと、今回の授業を受講して考えた。

受講しているとき、私は恐怖と緊張が混ざり合ったような変わった感情を感じていた。今回の授業で知ったことや、考えたことは一生忘れないだろうし、自分でも忘れようとは思わないようにしようと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話をきき、改めて原爆の怖さを知りました。た、た一発の爆発で何万人、何十万人もの人が死んでしまうなど、おそろしいのはもちろん、今の私たちの生活では考えられないことだなと思いました。

また、原爆を落とす位置の条件などにもこだわり、検討していることが分かりました。条件は主に3つで、それは直径5kmを超える平野、空襲がなかったの3つです。候補にあがった都市は6つで、広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都の都市があげられたようです。広島、長崎は実際落とされたこともあり、広く知れていて、私も知っていました。それ以外の4つは、候補となったことを知りませんでした。最も京都が原爆を落とすところにいいとされていたが、系吉局除外されました。京都は歴史的な文化などがあり、人々に親しまれていた文化や都を原爆によってこわしてはいけないとされ、候補からなくなりました。私は、落とす場所にもこだわり、投下していることを知り、少しおどろきました。

太陽の温度は6000度、原爆は7000度でした。1000度も違うことに、ゴクおどろいたし、それで焼けしんでしまった人は、どれほど凄くおそろしかたのだらうと思い、本当にかわいずおだと思

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

思いました。私な悲惨な事が起こらないためにも、これおそろしさを伝えていかなきゃいけないのだなと痛感しました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、ひんがち原爆のこと
を知り、平和のため勉強
がばい、このころ、原爆休
みの自由が三つのテーマにし
たいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆や戦争の被害はとても大きいと思
いたけれど話を聞いてもって被害が大
きいことが分かってもって戦争がまた起
こってはいけないと思った。

原爆などのことを知ることでそうなら
ないようにしたり、原爆を止めた人の思
いや願いを知れた。そのことをたくさん
の人が知ることによってその思いを
ずっと残していき、ことか
かできると思った。

原爆ドームを残したり、平和の公園をつ
くったり、学校で戦争の勉強するよ
うな平和の取り組みをするこ
とで戦争のことを知ったり、
考えたりして、ずっと平和な世
界をついていくことか
かできると思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

7/12

原爆の怖さ、落とした場所などが、ハッキリ分かった。また、原爆の熱さは恐いものだと感じた。広島に行った。丁度5年生で勉強している時だった。原爆ドームももちろんいった。とても、無惨なものもあり、不気味だ。だが、現実を受け入れなければ「意味がない」と思った。実際は、言葉に表せない事が起きたと思うから、さらに、次世代の人達に悲惨さなどを伝えていかねばと強く感じた。でも、今回受講してみると、知らないことも多く、命の大切さ、尊さを実感した。これを機会も、と原爆に興味を持ち、遺霊の行事もインターネットなどでチェックしてみようと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日原爆先生の授業を受けて思ったこと
や疑問に思ったことをふり返ってみました。
一つ目におどろいたことは太陽
より熱い物がたった600m上にあっ
たなんの想像もできませんでした。
球体はどんな物だったのか少し気にな
りました。

二つ目に思ったことはその球体の
あらゆる物が焼きつくさねとしまつと
いうことにおどろきました。そんなこ
とになつてしまつとどうなるかどう
かは言葉で聞いて少しわかりました。

一つ疑問に思ったことはどうしてソ
トルボイは4kmも動いて爆発し
たのかということは何気になりました。
ななめにかけたのかなななにも考えました。

この話を聞いてただけで怖くなったの
で「平和っていいな」ということをあらた
めと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

広島^ノ原爆^ノことなどをきいてこれからどんどん原爆^ノことを知らない時代になっていくけどこれからも今日のように原爆^ノことをあまり知らない人たちにうけついでいきこい。また原爆のおそろしさなどをあらためて実感した。大やけどで皮がむけたり、炭みたくに黒くなったりという情景を見たことはないけど、頭のなかで考えて思いうかべるだけでとてもおそろしいことだと思った。これからも原爆がおきないために自分たちができることをせいはいかにばってやろうと思う。そして原爆^ノことなどを学んで、どんどんしりたいと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは今回の授業で、戦争はとてもおそろしいこと
だと改めて思いました。ぼくが原爆先生の話をきいて被爆
した人のつらさや原子爆弾がもたす被害を詳しく知るこ
とができました。ぼくは原爆の授業をうける前
は、広島と長崎に爆弾が落とされ、大きな被害が
あったということしか知りませんでしたが、今回の授業で
実際に原子爆弾を体験した人の話を聞いて、原子爆
弾の太陽よりも熱い強い力で人が悲しいことになら
り、爆心地の近くにあつた建物があつたも無く消えたりと
したことを知り、原爆への見方が変わりました。今回の
授業でこれからは戦争のことを深く知り、忘れずに次の
世代に伝えていこうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、いつも戦争について無関心でした。なぜならどんなふうにも人が亡くなったとしても私には関係がないとずっと思ってきましたからです。でも今回このような一人の陸軍の立場から戦争のたいけん談を聞くといままでの自分があろか見えてきました。私はどれだけのひどい事を知らない内にたくさんおこなっていました。

私は今回のことをきっかけにして戦争に対する思いや考えを変えてもうこのような悲しいことがおきないようにこれからの世代にこの思いをつたえてひきついでてもらおうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回まで原爆について調べただけで知ったつもりになっていたが、今回原爆先生の話を聞いて、実際の被爆した時の様子や状況がさらに詳しく分かりとても勉強になった。

今回原爆先生に聞いたように、原爆や戦争の恐ろしさを後世に伝えていくことで、戦争をなくすことが出来ればいいなと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は、どおだけおそろしいのかをいまいし、
特に法廷なかり話しているVTRが人間が
とけて地面にツリかてきまか、だくおどろ
きました。

このようなことがなげきまなどにもおらっていた
というは戦争はすくおそろしいもので、
一度とこのようないかおらてほりけない
ものなので、ほくも次の世代にこのようない
ことをたえでたいてす。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、特別授業を受けて、一番心に残ったのは、5分ほどのビデオです。
 泣きながら話しているのを身体ごとく感じました。戦争は、
 必ず死んでもいいから、戦争をやめろ。を叫びながら、
 大泣き、苦しんでいるのをどうでもするだけでいいのではないです。
 私たちは、このお話を次の世代へつないでいって、お返しを
 するしないことを知り、また、戦争を起ささないようにして
 いくべきことを知ることが大切です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の話を聞いて、一発の原子はく
だんで、約14万人が亡くなってしまったということ
から、原爆は、とてもおそろしいことだと分かりまし
た。また、原子はくだんは、熱線放射線であ
り、原はくしょうにかかってしまうということも
分かりました。

今後、他の人たちに、この原はくのおそろし
さを伝えたいために、

友だちと、原はくのことについて
話し合ったりしていきたくら
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は五年生まで「原水爆はつたり、使ったりしてはいけない恐ろしいもの」ということは知っていましたか？ *

爆心地からおよそ4kmであった場所でもものすごい閃光と熱風がありさらに広島市の人口の40%が亡くなってしまった他、ものすごい熱さと毎秒440mの速いしょうげき波があり約75年もたつたいまでも

原爆によってできた後いまだに

今でも苦しんでいる人がいふなかで

核拡散防止条約や包括的核実験禁止条約、核兵器禁止条約が署名・採択

されていますか。また、世界にたくさんの核兵器弾があるのてこのようなことが繰り返さない

ようにつきまといくら必要があるのかな

と想った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自分は原爆のことが一番受けついて
いこうと思った、なせかという池田
さんの飛行機の話が一番印象にのこ
たからです、頭でも考えるしびびってし
まへらいことがあったからです。

弟に池田さんの話をしたらせんせん
理がいてきてなかったから五年ぐらいにわた
ら家族みんなにおしえてあげようとおもっ
た。95分間話すということはむしろだ
けおとなになつてから子供まごとう
けついでください。今回は本当にありがと
うございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は命の危機にひんした事が無いけど、熱線(3000度の熱)や放射線を浴びたり、機体がこれ程うな衝撃を受けた人がどれだけつらい目にあつたか容易に想像できる。だから、同じ過ちがくり返されない為に、この出来事と、この出来事が起きた理由を(また子供だけけど)次世代に伝えていかないとと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

被爆者たちの思いが伝わった。一人一人が痛さを泣いてがまんし、少しでも少しでも長く生きるために苦しんでいた。今のぼくたちは原爆の事もあまり知らないし経験もないので本当のこわさ悲しさは分からないが自分たちが被爆者の人に出来るのは長生きして、多くの人々に原爆のこわさなどを教え、原爆の被害の中に自分たちがいなかった事をようく頭にいれて生きていきたいなと思います。また生きるということを大七刀にしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1945年8月広島に世界で初めて原爆が落とされました。

今日の5,6時間目、私達6年生は、体育館で、原爆先生のお話を聞きました。原爆の話を聞くのは、初めてでした。

衝撃波の速さ、音速よりも速いことを知り、おどろきました。

広島市の人口の約40%が死んでしまったことがおそろしかったです。

私達6年生(約100人)のうち、40人が死んでしまうことなのです。

原爆の周りの温度が約7000℃、太陽の周りの温度が約6000℃

太陽の温度よりも熱いということは、どんな温度なんだろう。

地球上にこんなおそろしい物があるなんて、二度も使っちゃいけないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆について前々から少し興味を
もっていました。原爆ドームや原爆資料館
まで運んで見たりしたことがありました。でも、私は
それではわからず、原爆の恐を味わいました。
池田先生が広島への原爆投下の音を再現
した時、思わぬ体からくる恐ろしいにつま
れました。それでも、当時ヒロシマに住んで
いた人や、来て、来たの方が私の想像を
きないくらいの恐ろしかったと思います。
だって、今まで空襲がなかつた土地で暮らし
たし。原爆という名のおそろしい武器が私たちの
住む日本に恐ろしいを 1945年8月6日に
落とされたことを、私は一生忘れず、後の
世代に伝えていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

アメリカ軍が原子爆弾がどれくらいなのかを調べるために、山はかりの日本を運んだことや、原爆の目的地の近くに原爆を落としたこと、太陽が地上600m付近にいる程の熱さだったことにおどろいた。時速300kmのエノラ・ゲイでも、2回もの衝撃波が当たったこと、コンクリート製のがんじょうな建物でも熱波が当たったことから、原子爆弾の恐ろしさを改めて感じた。また、約4社の「トルボーイ」をエノラ・ゲイに乗せて運んだことや、ラジオソングをパラシュートで降ろし、原爆のいかに恐ろしいか測ろうとしたことから、当時のアメリカの技術は日本を上回っていたと考えた。マリアナ諸島でニア島から原爆を落としたこと、原爆が地上600mで爆発したこと、上昇気流のせいで行った黒いけむりはその後どうなったのかなどが分からなかった。

僕は原子爆弾には熱波と衝撃波と放射線の3つがあり、どれも恐ろしいということを知ったので、被爆者ではないが、日本人としてそして原爆の恐ろしさを知る者として後世に伝えていきたいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は総合の学習をして原爆のことを知った気になっていったがこの特別授業を受けて自分は半くらいしか知っていなかったことに気がついた。

原爆投下都市の条件、原爆症があったことなどぜんぜん知らなかった。

私がか心にひびいたのは、原爆資料館で「きれいすぎる」と言っていたことだった。写真を見たところ手がもう人間のようではなくどこもきれいとは言えないが、軍隊さんからすれば「自分の目で見たから言葉にできないし絵も描けない」それほど「きれい」と言うことのできないのだ

だと思った。

原爆のつらさは広島や小倉、長崎の人そして軍隊さんにしか分からないことでその人達以外はぜんぜん解決しない、最後まで知らないことだ

私も分からないことだらけだ

これが楽しいことをいはいようと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

はい、今回は、今回の話を聞くまで、原爆のおそろしさや、その凄惨さを知りませんでした。原爆は地上から約600mのところではじかれたこと、その温度が太陽より高くなったこと、雲がキノコ雲になったこと、これも意味があったのだと、今日初めて知りました。ことごとく、心にとめておきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今までパソコンや教科書などを使用して原子爆弾^{原爆}について調べ「みんなけがを負ったりしてはっの
 だな」と考えてきたが今回現実にはそんななまぬ
 ることなく自分たちの予想がつかない程でも考
 えられないことだったのだなと思った。僕は戦争
 などは技術の発展を生み出すかもしれない。でも
 1945年8/6、8/9 あの日には原爆さえ落とさなければ
 した戦争などしなければまだ生き生きと元氣
 に生きていたかもしれないのにと感じた。
 だから僕はこれから社会人となり生きて行く
 上で多くの国との交流を通じてすべての国が安
 全安心な未来を考えられる。そんな未来にし
 て行きたい。そのために、ぼん、ボランティア活動
 をやり、難民の人も支援したいと思う。
 このように多くの人が助け合いのたまごの
 すべての人が毎日を楽しみにすることができ
 れば戦争もなくなる。だからみんなと戦争
 からの教訓を生かし、二度と人々で戦争を起
 こさないことをしたいと思う。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

池田さん ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は以前長崎の原爆資料館に行ったことがあり、そこで原爆についてくわしく知った。だが、私が知った情報はほんの少しだけで、まだまだ全然知らないことがあると、今回受講して分かった。原爆の温度やとう下したきより、とう下目標地点など全く知らなかった。

今回、「池田よし三さん」という当時軍にいた人の話をきいた。その中で被爆者の様子が書かれていた。「皮ふがたれている」や「人間みたいじゃない」とかかかれていて、すごくこわかった。想像するとおそろしかった。なので、その「おそろしいこと」が二度と起きないように、戦争のきおくが日本スからなくならないよう、語りついでいかなければと、改めて強く思った。

また、最近「改ほう」をしようとしてることを聞いた。「二度と戦争をしない」というけんほうを改正しようとしているらしいが、そんなことをしてはならないと思う。なので18さいにな、たらちゃんと選挙に行き、自分の意見を言おうと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生の言葉を聞いてとても原爆のことがいはい分かりました。最初の子どもや大人がびっくりはがれたことを聞いてとてもゾッとしました。その人たちのことを想像したらもう悲しくてたまりません。だからぼくは単戈争のおそろしさをもっと分かって声も出せないほど息をのんで聞いていました。初中の京者隊は単戈いに行かされて「かおいろだな」と思いました。ぼくは、京者隊の人たちは何も罪もおかしていないのが「みんな」すましました。「リトルボーイ」というぼくは、パラシュートを付けても中にラジオソングというものが入っただけで重さ4ナグのばとたんをもち上げるこれがとてもおそろしかったです。これからぼくも単戈争がおそろしいためにはどうすればいいのかを考えたいたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は私達のために来てくださりありがとうございます。

原爆について昔から興味をもっていたものの授業でしか
られず、調べようとしつても時間が...という日々が続
いていました。月曜日の5~6時間目と、正直シャキとしない時
間でしたが、このしょうげき的な事実と池田さんの声、読み方に
圧倒され、90分間とって命について考えさせられる機会で
した。唐突に来る大きな音、それにともない、次がくるという恐怖、
どれもその現場そのもの、それ以上の恐怖感があったのではない
かと、とても実感できました。

私が特に「これはさすがに... ありえない...」と思ったことについてです。

もちろんすべてゆるされることではありませんが、特にありえない...人間?と
うたがうようなことです。それは「京都には文化財があるから」原爆を起さない
という話です。もちろん今後もし日本がまけていたらすみかには必要ですが、「今生きて
いる人にそれが文化財」と私は思います。日本人の心情がすべて京都の人々に
あるという訳ではありませんし、これからアメリカと違、た新しい文化をすべて
こわした原爆にはくやむ気持ちしかしてませんが、こういうことを考え
るだけでも、気持ちになるだけでも私はいいと思います。改めて今回
は本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が起こると人が苦しめ、痛い思いをしながら死んでいき、それは、実体験をした人にしか分からない。

だが、そういう人から受け継ぎ、私たちのような、戦争を体験していない人に教えることで知識が増えました。

私は原爆ドームまで行きましたが、その時はこわいと思っただけでした。けれども、今回のことで、原爆の強さとこわさなどのことがよく分かり、戦争で生き残った人がとても、すごく、尊敬しなくてはならないことがよく分かりました。

そして、今回のことを家族は話し、もう一回初めて行った時の気持ちとは違う気持ちで、原爆ドーム、平和資料館へ行き、戦争に対する思いを深めていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼは言いかたが変かもしないけど、
 戦争にまよひをもった。
 でも戦争には、池田さん三人もいた
 とあり、人間みたくではない、ほとこのおれ
 をおたがたり、死体があったとまじに地
 ごとくしう、こうけいかたがらうたと言ふし
 からも、想像からも分かった。
 池田さん、いたいのて、去や家をゆ
 したりと、言ふと、まか、悲しみ下
 りは、いたたと思ふ。最後の池田人の聲
 しては、立いかれた。それは、實際
 に体験した人にしかわからない、悲
 しみだと思ふ。今、戦争がない、味え
 の悲しみが、全国に伝ゆったからだと
 思ふ。池田さんは七なくなつてしまつたけど
 人の底力も、いたいのて、去やとありが
 と、いひまふ。今、戦争が無いのも
 池田さんたちの、隊軍のおかげだと思
 います。今まで、ありがと、いひました。と

言いたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

とにかく昔は14万人の人が死んでしまい、すごい大変で、ごんごんだったんだなと、思った。

また、昔は、候補として、広島、小倉、長崎、横浜、新潟などがねらわれていて、投下する条件もあるんだなと分かった。

ぼくはこの話を聞いて原爆はすごい人がなくなってしまう、おそろしいことなんだよと、小さい子たちにうけついでいきたいと思う。また、この事を覚えておくようにする。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

(原爆が) 7/12

。今回原爆先生の特別授業を受けてみて、外国から一つ
 もしくは、二つ落ちてくると大変なことになると思った。例えは
 今回中への県であった広島、広島では、原子爆弾が落
 ちる第一にほとんどなっていたため落ちて毎秒(衝撃波の速)
 が440mで投下された原爆はリトルボーイで時速300
 kmで落ちて橋の「^ア型」をした所落ちて、爆弾
 2回(?)うち2回目は、^{落ちた瞬間の}回目より1回目のショックをばね
 がえしさらにはくはつが強くなり、何人も人がなくなった。
 こういふ事から、戦争でも原爆でももう一度起らないように
 多くのきせりが出ないように、未来にも伝えていきたいと
 私は考えた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

あまり知る機会がないけど、今回の授業で教科書とかではのっていないようなことを教えて下さりありがとうございました。

特に私がおどろいたのは原爆の温度です。

600m上でも地上3000℃なんて想像できないくらい熱いと思いました。

最後のお話でも本当に辛かったんだなあと思いました。

本当に教えて下さりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この特別授業を受け、戦争の
きょうふさが分かりました。

私自身は被爆者では、ないですが、先生
のお話を聞きリアルにすごく広島^の原爆
のことが少し分かった気がします。

今では、被爆者が少なくなってきている
ので、このお話を頭の中に残し、次
の世代へかたりつぎたいなと思いま
した。

月曜日、貴重なお話をありが
とうございました。

次の世代へつげようがんばり
ます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

7/12

「原爆」ということじたいはうすらすらとは知っていたのだが、そこまで「詳しくは知らなかった。

例えば、「候補になった都市、原子爆弾投下都市の条件、原子爆弾の温度など。

ほとんど知らない事は「かりだったのだが、この特別授業を受講して全く分からなかったことも分かるようになった。

そして、個人的に一番おどろいたのが原子爆弾の表面温度が太陽の表面温度より1000℃高いという所だった。まずあの時代の術で太陽よりも高い温度のものをつくれた。というのとそんなものをあびてしまったら...という不安とえ、!?というおどろきか、混じった心になった。

私は、このきちょうな本験をもとになにか対策を考えられたらなと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して、私は、まず、一番にできてきたことは、このようなことが絶対起きてはならないということだと思います。誰もが思うことですが、このようなことが起きてしまったことを純粋に受け取め、被害が起こらぬようにしようと思いました。池田先生の感情的な説明、リアルな再現によって、原爆が恐ろしいことが伝わってきました。実体験者が語る、そのときの様子の説明も、泣いてしまうほどの恐怖やみにくさ、辛さでいっぱいだったと感じました。私達の世代ではわからないほどの大きなものだったのだと思います。想像しても、しきれないほどの恐ろしさは、もう誰にも味わってほしくない、と心の底から思いました。この受講をし、今までちゅうとはんぱな気持ちでやっていた総合の学習の学びを深め、被爆者に折りの気

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

持ちをこめ、授業にのぞもうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

7/12

原爆のこわさやひどくかやしてもよく分かった。そしてその近くにいる人々の髪の毛がとけるくらいにおどろき分かった。あなたが想像できなかった。みんなどんな気持ちだったのかと思った。(そのとき)やはり原爆の近くにいると、水にはいろいろな蒸発などしたり、衝撃波も来た。そしてその時地下にいたり、コンクリートで囲われて生きていても、紫外線も、いろいろなことで、にげみちが少なくていいことが分かった。爆弾といったらあのキノコみたいな火煙が空に広がるしくみもよく分かった。原爆のおとす候補に6つあって一番効果の高いのは京都たかおとも考えおとさなかつたか。まじくは、ならば原爆を落とすもおとさなかつたり、使う料を減らしたほうがいいか。たのては、ないかと考えた。これからは戦争があつたら、いちおう爆弾は使わないようにしているか。勝つた関係(レベル)もなくなるから、どうなるかとも思った。これから、戦争のことを知らない人たちに少しでも伝えたり教えていきたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、
 自分自身も、平和を
 守るために、何か
 をしたいと、思いました。
 先生の話、とても
 勉強になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今までは原爆被害とされて来た人が
亡くなった事までしか知らなかった
だが今回の原爆先生の話を通し
て被爆者の非惨さや原爆の恐ろ
しさが分かった。池田さんの話を聞いている
間、何ともいえない変な感触があり、
思わず耳をふさいでしまっただけが
気持ち悪い時もあった。この感覚から、
戦争の恐ろしさを実感した。もう戦争
が起きないように願う。次の世代に
伝え、戦争の恐ろしさや池田さんの
想いがいつまでも続いてほしい。彼
達の気持ちを他の人にも伝えられるように
がんばってください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆の話しを聞いてみて今ではありえないことだと思う。
もし今の時代に原爆がおちてきたらき、と今回聞いたよ
うなことになれし画像で見たようなけしきにもなりえると思う。
だからこそ次の人たちにひきついでいかせるけんりが
私たちにはあるのかと思いました。
原爆について矢張りきかいがあつてよかたと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今までは本などでしか読んだことがなく、本当の原爆のおそろしさが分からなかったけど、今回の特別授業で原爆のおそろしや被爆者のつらさ、その時刻なにかあったのか本当のこわさを知れたと思います。今までは、被爆者の方の視界から見てたけど、助ける方の視界からは考えたことはなく、もっと広びろと考えようと思った。助け方もつらい気持ちを持ったと思うけど、その原因自体を調べようと思った。

今回特別授業を受けて、ぼくは広島、長崎で、被爆した本人たちがぼくらの世代につながってきて、このひげきは、これからも忘れられないように、ぼくたちは、その本人たちから受け伝えないできたことを次の世代へつないでいきたいです。

ぼくは、まだ知らないことがあるけど、どんどん学んでいきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

改めて原爆の恐ろしさを実感出来ました。私が特に、印象に残っているのは、70000の少年です。主人公である、よしろうが色々な場所で人々を救う姿がとてもしっかり、こよか、たです。広島で有名な原爆ドームについても印象にしっかりと残っています。おどろいたのか原爆ドームは、広島県産業奨励館だまということ。私は広島県産業奨励館を知っていたんですけど、まさか原爆ドームだまとはおどろきました。原爆ドームも、次また機会があれば、行ってみたいと思いました。次は最後の方にあった、男性の話です。やはり、実体験した人の話を聞くと、原爆の苦しむか伝わってきます。原爆の時、少女の治りようをしてる話の時も、痛かただらうと心の中でつかやせよから聞いていました。私はこの特別授業を受講して、「原爆」は体験していないけれど、しっかりと原爆というものの、おろかさやあてはならないものという区別が、しっかり出来ました。あと、衝撃波の速さや真空地帯の話など、たくさん情報をありがとうございました。今日は私たちのために来ていただき、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して説明を受けてくれただけで「残酷だ」と思ったのに実際はもっと酷く実体験をした人はもっとびっくりだったという話を聞いてすごくびっくりしました。

私はこれだけ大勢の人達が被害を受けたことをいろんな人に伝えたいと思いました。私の今考えている中の将来の夢は施設で働く人が保育士になることなので小さい子でも簡単に学べる交流の場を作りたいという人々に伝えていきたいです。

原爆先生の授業で京都が一番原子爆弾をおかされていたのにおとされなか、大理由で「古くからある大事に建物などをこわすわけにはいかない、日本人の感情を考えた」という理由に2つ疑問を持ちました。

1つ目は、なぜ「古くからの建物」をこわしちゃいけない、日本人の感情などで「おとし」は避けられないというのをなぜ「戦争中」でも考えたのか。

2つ目は、なぜ「日本人の感情」をいちそう考えていたのにどこかには絶対おとしたのかという疑問が思いました。

私はこの2つの疑問に対して自分で考え中答えはないです。でも「おとし」は「おとし」か「こわす」から大人数の命を奪うことを考えたのではないかと。

今日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ワカ

ぼくは今回の学習から改めて原爆の恐しさを感じた。最初は原爆は弓矢の物が大勢の人が死んでしまったことは知っていたので「おしくど」のようにして落ち、具体的に「ど」のような被害があったのかは言周りに聞いてなかったため知りませんでした。なので今回の授業で、池田さんの物語などから、原爆を受けた人の恐しく悲しい姿を想像したり、広島で40%の人が死んでしまった現実、原爆の熱風などの恐ろしさを聞くと原爆の具体的な恐ろしさを知り、原爆が「とても恐ろしく非道な物だ」と改めて感じ、原爆は存在していない物なのだと感じました。今回はありがとうございました。

ありがとうございました



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のお話をいろいろ聞いてきたが、
ありがとうございます。前から原爆のひさん
はたがたでニュースなどで報道されて
いましたが、この度先生のお話を聞いて
ぼくは自分の知らなかったことがたく
さんありとてもおどろきました。

特におどろいたことは、原子爆弾の
爆発した時の中心温度が100万度近く
もあるという事です。爆発した場所
の下にある物はほとんどがなくなってし
まうことが分かり、こんなにひさんな
兵器が世に類はつくってしまったの
だという事考えました。これから、
原爆のような物がまたつくらぬ事
がなくなっていくようにぼくたち
は努力していかなくてはならない
のだなと感じました。いろいろお話を
をしていただき、ありがとうございます。
ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆は想像を絶するものということが分かった。前までは大きな爆弾くらいの認識だったが、原爆は爆弾とはまったく別のものということが分かった。原爆について見ていくと、とても胸苦しい場面が多かったです。が原爆から平和について考えるということはとても大切なことだと思つたので、今日学んだことは忘れないうにしたい。また、こうして今日まで受けつがれている原爆の残酷さの語り部を私も受けついでいかなければならないと思つた。なので、これからはもっとくしく戦争について調べていきたい。具体的には「日本はどのようなつげきを仕掛けたのか」「なぜ戦争は起きたのか」など、あまり語られていないことまで調べてついで、いろいろな人たちに原爆について教えていこうと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、源ぼくのことしかしらなかつたけど、この特別授業を受けて、京都とかは、知らなかった！
上空 600m でぼくは居たことと、200m・100Ft
・7000℃・600m・3000℃の熱線 太陽のひ
ゆみの温度が4000℃で高さが東京タワーと同じ
ぐらいで、毎秒4kmあり、原爆症というもの
があることが分けた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆について聞いて戦争は良くないとだと、あらためて感じました。そして核兵器の怖さを実感できました。核兵器一つで、24万人もの人が被害に合っ
うなんて...考えるだけで、わいです。

私たちは、広島県民、長崎県民などではないから原爆なんて関係ないと思わずに、語りついでいったり、関心を持つ必要があると思います。なぜならたとえば東京原爆が落れたとき、前の原爆より、もっと核兵器が成長していると思うので、どう逃げるなど(逃げる時間などないかもしれないけど...)と考えることができません。

私はこの授業を通して、平和の大切さに気がつくことができました。あたり前だと思っていたことがあたり前ではないと思いました。これから、平和の大切さについて、調べていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆や平和の事について教えていただき、
本当にありがとうございました。
まさか原爆がここまでおそろしいとは知りませ
ぬでした。ぼくはついたら、太陽以上のあつさび
人を蒸発させてしまったり、かなり重しの上の大木や竹
ひえをとがしてしまったりさらに、川の水まで蒸発せ
せてしまうなんてとてもきつうな感じました。
しかも熱だけでなく生き残った人まで殺してお
放射線や放射能までありました。
あのたった10のばくだんで人がここまで死んだり
大けがなぞをおおてぼくはしてもがなしく思え
ます。原爆は決して偉くはたらないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/12

池田義三さんの話を聞くことで目の前に風景が浮かんで来て悲しくはなったりかわいそうにならぬり自分でも心か痛みました。日本の文化財がある京都にはおとさないと判断してのいなせ広島にはおとしていいのか意味が分からぬのと思ひます。人の命はものと同じにしないでほしいと思ひます。ものならこわれても焼けてしまつてもまたつくれよ人の命は二度とこいてこない。そのことをあらためて実感しました。このことは二度とや、てはいけないうと次世代に伝えていくべきかと思ひます。原爆先生から私るる人、私るるから次世代の子供へというように何100年、何1000年とたつても伝えていくことが重要なこと考ひます。太陽よりも暑いものが空からふつてくると思つると本当にぞろぞろと二瞬にして人の命をうばうのは本当に怖ひです。私はまふ原爆ドームにおとすおとすことをこのひびび一生に1度は必ず行さんなと思ひます。今日は本当にお許をしていふべきありかとうござりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は人々にいたみ、なみだなど
つらいことをたくさんでてこさせる二度
とあてはいけないものだと知った。

原爆をおとしても何もよくなりな
い、だれもよろこばない戦争と同
じ損得がない物だ。

私達はこの出来事を決して忘れ
てはいけない、今けっがれた思いを
後の人達に伝えなければならぬ
ということも学んだ。

罪なき人をたくさん殺めてはいけ
ない！もうだれもこんな思いを
させないために私はこれから、こ
の話を“ツナグ”ことを大切に
“命”を大切に生きていき
たいと今回の授業で考えた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この話を聞いて、前からたまに調べたり
考えたりはしていたが、糸田が戸斤
がよく分かり、特に中心の温度やどの
ような爆げき土也のうほがあたのかと
いう点で、東京に近い横浜や、伝統
などが多く取り入れられている京都
が出ていておどろいた。やはりもう二度
と戦争をしてはいけないという、と
を伝えないといけないと思った。